

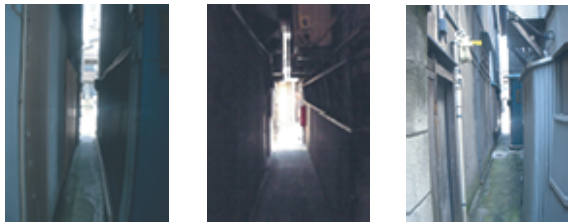
距離感が歪む空間

指導教員 吉松秀樹教授 印

7AEB1112 小林 詩織

1. 距離感が歪む体験

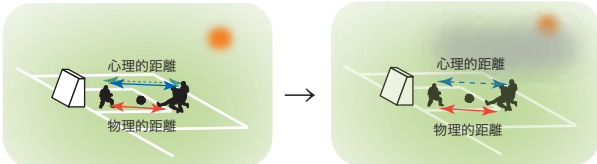
新宿や住宅街に距離感が歪んでいるように感じる空間を発見し、魅力を感じた (Fig. 1)。距離感が歪む空間は、物理的な距離感と心理的な距離感が異なるからと考えられ、ほとんどが暗いところから明るいところをみた時に距離感が歪んでいるように感じた。



新宿や住宅街で見つけた距離感が歪むような空間 Fig. 1

2. サッカーにおける距離感 (1対1)

サッカーにおいても距離感が重要である。その中でも1対1の距離感に魅力を感じる。シュートを打たれても大丈夫な距離感や、ボールに飛び込められる距離感である。その距離感も天候のコンディションによって正確に認識できたり、曖昧になることがある。(Fig. 2)



晴れの場合：距離感が正確に認識できる

曇りの場合：距離感が正確に認識できない Fig. 2

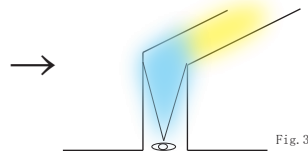
3. 調査分析

3-1 高揚感 - 先に行ってみたい -

先に行ってみたいと感じなければ、距離感が歪む空間を通ろうとしない。人は興味や疑問が生まれれば、必ず答えを出そうとする。目の前を曖昧にすることで先に興味を持たせ、その先に行ってみたいと感じさせることができるのではないか (Fig. 3)。



先が続いているかどうか曖昧である



平面からみると先が続いていることがわかる Fig. 3

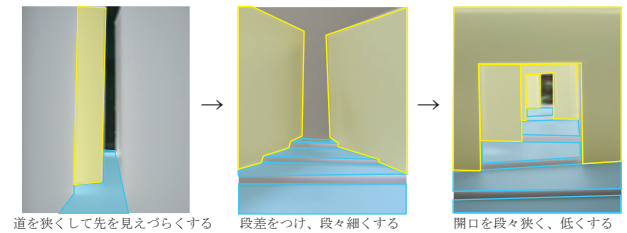
3-2 明度差

距離感が歪む原因として、明順応と暗順応も関係している。明るい所→暗い所に入る時、はじめ眼が慣れず見えづらいが、次第に眼がなれ物が見える。暗い所と明るい所を同時にみることで、眼がどちらに順応してよいかわからないため、焦点が定まらず距離感に歪みがおきると考えられる。

4. モデル化

都市サーベイで見つけた、距離感が歪む空間や、また先に行ってみたいと感じる空間をモデル化する (Fig. 4)。

高揚感を与えるためには、先を狭くして目標を曖昧にすることで解決できる。また段差をつけることにより、距離感が少し歪み、さらに開口の大きさを変えることにより、さらに距離感が歪み高揚感も増す。



道を狭くして先を見えづらくする

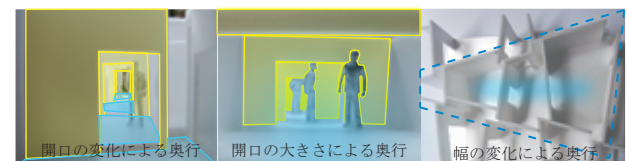
段差をつけ、段々細くする

開口を段々狭く、低くする

距離感が歪む空間にいくまでの過程 Fig. 4

5. 空間が歪む建築

モデル化により発見した、距離感が歪む空間を建築に取り入れることで、狭い空間を広く見せて圧迫感を和らげたり、広い空間を狭く見せることで、その空間に親近感を感じさせることができる (Fig. 5) (Fig. 6)。

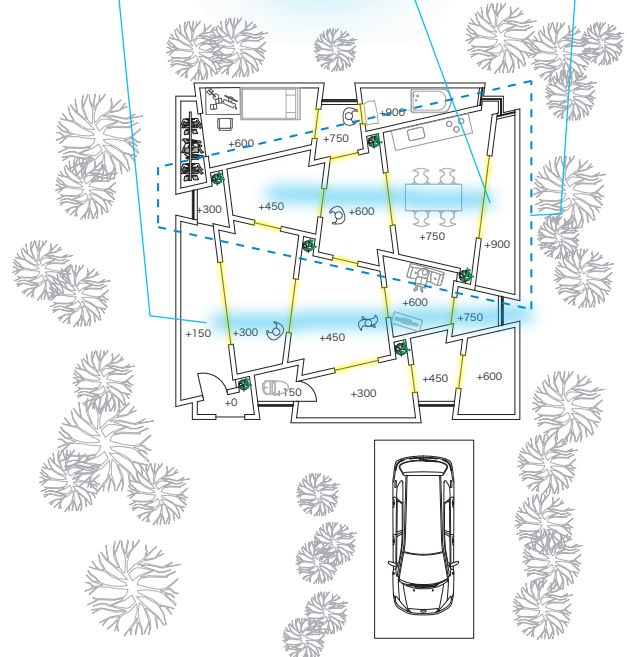


開口の変化による奥行

開口の大きさによる奥行

幅の変化による奥行

Fig. 5



住宅平面図 Fig. 6